

# BIBLIO BATTLE IN HACHINOHE

知的書評合戦「ビブリオバトルin八戸～第11回大会～」の決勝戦が23日、八戸市のデーリー東北新聞社で開かれた。高校生～一般の部には6人、初めて実施した中学生の部には7人が出場し、「チャンプ本」の称号獲得を目指して熱弁を振るった。観客の投票で「チャンプ本」「準チャンプ本」に選ばれた4人の発表を紹介する。  
(取材班)

## ビブリオバトルin八戸～第11回大会～ 高校生～一般の部

### 六人の嘘つきな大学生

(浅倉秋成著、KADOKAWA)

#### 準チャンプ本



## 人間の弱さ浮き彫り

品田 悠陽さん(21) 八学大3年

この本はミステリー小説で、エンターテインメント企業の新卒採用が舞台。最終選考に残った6人の大学生は、全員内定に向けて最終課題のグループディスカッションに挑もうとする。1カ月の準備期間を経たが、最初はバラバラだったが、徐々にチームの士気や結束力は高まり、信頼の厚幕を開き、混乱の最終選考

い関係へと変化。そんなある日、担当者から選考方法変更の連絡が入る。それは、6人の中で誰が最も会社にふさわしいかを話し合っ

て、エンターテインメント企業の新卒採用が舞台。最終選考に残った6人の大学生は、全員内定に向けて最終課題のグループディスカッションに挑もうとする。1カ月の準備期間を経たが、最初はバラバラだったが、徐々にチームの士気や結束力は高まり、信頼の厚幕を開き、混乱の最終選考

えてなかつた一面を知れたとも解釈できるので、プラスに捉えることもできる。お互いに向き合うことについてつらいこともあるが、よい仲を深めたり、心の内を知れたりできるのも思う。それで、これはうそにも同様に言える。うそは人を傷つけるし、信頼関係も壊すし、絶対良くない。だけど、うそをついたことのない人間なんていない。だから、うそをつかれた

【自己評価】全力を出せた結果、準チャンプ本を取れてうれしい。発言は練習通りにできていたが、大会の焦りから、いつもより早口になって20〜30秒時間が余ってしまった。でも、うまくリカバリーできたので良かった。来年は就活生になるが、できればまた参加したいと思っている。

#### 決勝戦出場者(発表順、敬称略)

##### 【高校生～一般の部】

- ①能登谷明姫(八戸高2年)
- ②南川朱里(盛岡市、学生)
- 「ザリガニの鳴くところ」(ディーリア・オーエンズ著、早川書房)

- ③品田悠陽(八戸学院大3年)
- ④手嶋久敦(八戸市、教員)
- 「内気なキミを最強にする説明書」(ナディア・ファイナー著、誠文堂新光社)
- ⑤柳谷萌々子(八戸東高1年)
- 「僕が愛したすべての君へ」(乙野四方字著、早川書房)

- ⑥若松楓佳(八戸学院大2年)
- 「ちいさなちいさな王様」(アクセル・ハッケ著、講談社)